

# ファインテラス (強風地対応仕様) 組立施工マニュアル


## <目次>

● 販売店・工事店様へのお願い	..... P 1
● 規格寸法図・規格寸法表	..... P 2
● 規格表	..... P 4
● 組立手順	..... P 5
単体タイプの組立	
連棟タイプの組立	
バルコニー接続タイプの組立	
雪除けカバーの組立	
内嵌めタイプの組立	
● 基本納まり図	..... P 15

## 販売店・工事店様へのお願い

### ● 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵 表 示	意 味
 <span style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">注意</span>	使用者がこの表示を無視して取り扱おうと人的、物的損害の予想されることを示します。

### 注意

- 商品に貼付されている注意・取扱説明のラベル等をはがさないでください。
- 商品は、建物の屋根に積もった雪が落ちない位置に取付けてください。やむを得ない場合は、建物の屋根に雪止めを取付けてください。
- シーリング指定箇所は、必ずシーリング処理をしてください。特に部材接合部は念入りにシーリング処理を行ってください。シーリング処理が十分に行われていない場合、雨漏れの原因となりますので注意してください。
- 施工の際、躯体へのコーチスクリューや木ビスは、たたき込まずに確実にねじ込んでください。また、プラグ類をモルタルやサイディング等、部分のみで固定することも大変危険ですので絶対にやめてください。
- 材料を継ぎたす等の改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 一般タイプのテラスを積雪地域で使用することは避けてください。
- 積雪タイプのテラスを使用する場合は、注意ラベルの指示に従って、必ず雪おろしを行ってください。
- 設置場所等で、地盤から高く強風を受ける場所への設置は、事前に弊社営業所にご相談ください。

### お 願 い

- 施工を始めてから手直しが出来ないよう、事前に調査や打ち合わせを十分に行ってください。特に設計者や工務店様と取付スペース・工程・搬入実施日・搬入場所・施工実施日等、綿密な打ち合わせをしてください。
- 製品の運搬や取付けの際は、キズをつけないように気をつけてください。また、他の工事が終了後養生テープをはがしてください。
- この商品の勝手は、外観視 右勝手・左勝手となっております。
- 建物に取付ける部材・部品は、建物の柱・間柱・胴差し等に確実に固定してください。
- 水平・垂直・直角は、必ず正確に出してください。正確に出していない場合、取り付けられない場合があります。また、十分な強度が出ない場合もあり大変危険です注意してください。
- 取付けの際、ボルト・ネジ等は規定本数を確実に締め付け固定してください。建物に孔をあけたりネジを止めたりした場所には、確実にシーリングを施してください。

### ● アルミ製品を他建材製品と施工する上でのご注意

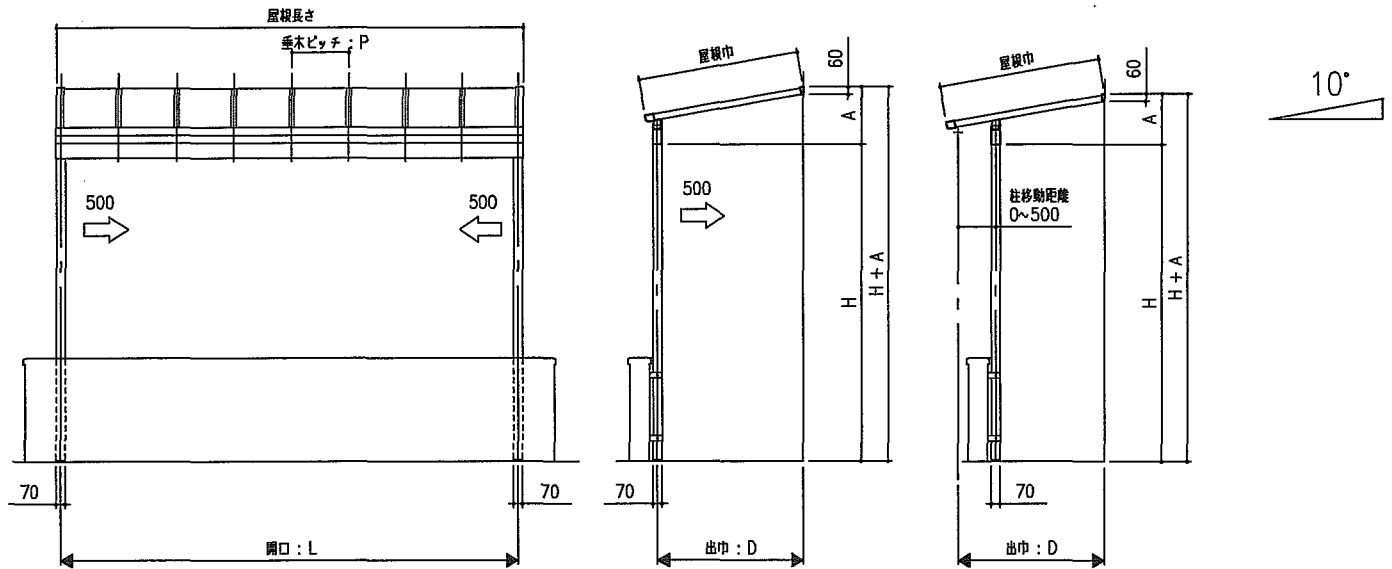
新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐蝕をおこし、思わぬトラブルとなりますので施工にあたっては次のような点をご注意ください。

- アルミ製品と 銅板やラス等 の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニルテープ等を貼るか塗装等で絶縁処理を行ってください。
- 輸入木材 には、塩素イオン等の腐蝕成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくかアルミニウムと接触する部分は木材に塗装するようにしてください。
- モルタル用に 海砂 を使用されますと、多量に含まれた塩分が腐蝕の原因となりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- モルタルやコンクリートの 抽出液 が工事中にアルミ製品の表面に流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性であるため、しみやムラ等の外観不良や腐蝕の原因となります。
- モルタルやコンクリートの 凝結材 は腐蝕の発生や促進作用がありますので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- 施工時にアルミ製品の表面に 付着 したモルタルやコンクリート等は、速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐蝕しやすくなりますので取扱いに十分注意してください。
- 腐蝕の恐れのある 接着材や科学薬品 を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

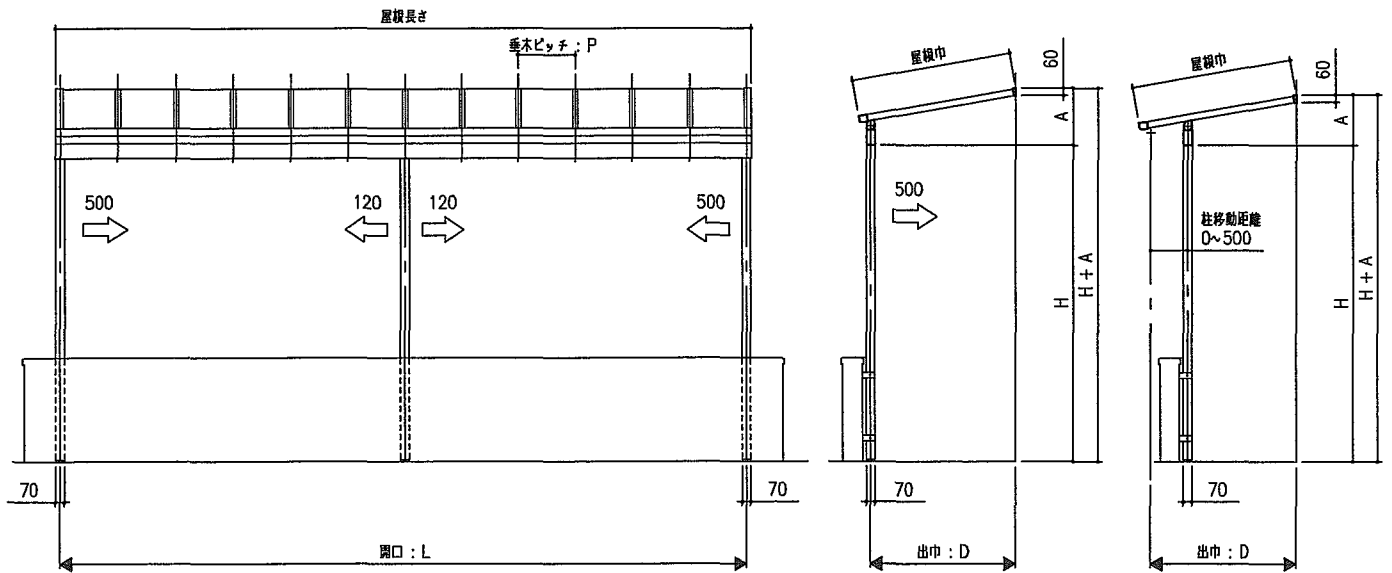
# 規格寸法図

## ○ 単体姿図

← は柱移動範囲を示す。



## ○ 連棟姿図



# 規格寸法表

## ○ 間口寸法

L	関東間	関西間
1.0 間	1826	2022
1.5 間	2735	2976
2.0 間	3644	3931
2.5 間	4561	4998
3.0 間	5470	5952
3.5 間	6379	6907
4.0 間	7288	7862

## ○ 屋根長さ

	関東間	関西間
1.0 間	1906	2102
1.5 間	2815	3113
2.0 間	3724	4124
2.5 間	4641	5135
3.0 間	5550	6146
3.5 間	6459	7157
4.0 間	7368	8168

## ○ 出巾寸法

	D
3 尺	865
4 尺	1165

## ○ A 寸法

	移動無	300移動
3 尺	407	354
4 尺	460	407

## ○ 高さ寸法

	H
高さ	2520以下

## ○ たる木ピッチ

	P
関東間	455.5
関西間	505.5

## ○ 屋根巾

3 尺	975
4 尺	1280

# 規格表

## ○ 横材

名 称	部 品 番 号	製 品 記 号 ( 関 東 圏 )			製 品 記 号 ( 関 西 圏 )			
		■JGY10S	■JGY15S	■JGY20S	■JGY10SW	■JGY15SW	■JGY20SW	
前枠	—	1826 x 1	2735 x 1	3644 x 1	2022 x 1	3033 x 1	4044 x 1	
移動桁	—	1826 x 1	2735 x 1	3644 x 1	2022 x 1	3033 x 1	4044 x 1	
たる木掛け	—	1826 x 1	2735 x 1	3644 x 1	2022 x 1	3033 x 1	4044 x 1	
ヒット部品	—	SE-1477-04	SE-1477-05	SE-1477-06	SE-1477-04	SE-1477-05	SE-1477-06	
	—	SG-1023-02	SG-1023-03	SG-1023-04	SG-1023-08	SG-1023-09	SG-1023-10	
セ ト 部 品 内 容	コーナースクリューφ6X70	—	3	4	5	3	4	5
	フッシャー M 6	—	3	4	5	3	4	5
	落下口ボックス	T-1002	1	1	1	1	1	1
	落下口カバー	T-1003	1	1	1	1	1	1
	トラスアップピン3種φ4X12	—	2	2	2	2	2	2
	側枠取付金具 R	EB-2163R	1	1	1	1	1	1
	側枠取付金具 L	EB-2163L	1	1	1	1	1	1
	六角ボルトM5X10	—	2	2	2	2	2	2
	接ネットM5	—	2	2	2	2	2	2
	フッシャー-M5	—	2	2	2	2	2	2
	スプリングM5	—	2	2	2	2	2	2
	側枠取付フック R	BP-3037R	1	1	1	1	1	1
	側枠取付フック L	BP-3037L	1	1	1	1	1	1
	たる木取付フック	AB-1203	1	2	3	1	2	3
	トラスアップピンφ5X12	—	8	12	16	8	12	16
	ヒコアブリソックスφ5X13	—	6	6	8	6	6	8
	後付ビード	GB-1332	2	3	4	2	3	4

製品記号の■部には色記号が入ります。

- S : セピアブラック
- H : ホワイト
- F : ファイングレー
- T : CBブラウン
- 8 : CBステン

## ○ 補強桁

名 称	部 品 番 号	製 品 記 号 ( 関 東 圏 )			製 品 記 号 ( 関 西 圏 )			
		■JGK10	■JGK15	■JGK20	■JGK10W	■JGK15W	■JGK20W	
補強桁	—	1826 x 1	2735 x 1	3644 x 1	2022 x 1	3033 x 1	4044 x 1	
雪除けカバー	—	1866 x 1	2775 x 1	3684 x 1	2062 x 1	3073 x 1	4084 x 1	
ヒット部品	—	SB-3527-01	SB-3527-02	SB-3527-03	SB-3527-01	SB-3527-02	SB-3527-03	
セ ト 部 品 内 容	六角ボルトMBX16	—	6	7	8	6	7	8
	フッシャー-MB	—	6	7	8	6	7	8
	スプリングフッシャー-MB	—	6	7	8	6	7	8
	接ネットMB	—	6	7	8	6	7	8
	防水ビス	—	3	4	5	3	4	5

## ○ バラダ柱

名 称	部 品 番 号	製 品 記 号	
		■JGBP	■JGBRP
柱	—	2500 x 2	2500 x 1

## ○ 中骨

名 称	部 品 番 号	製 品 記 号 ( 関 東 圏 )			製 品 記 号 ( 関 西 圏 )		
		■JGM4SN	■JGM6SN	■JGM10SN	■JGM4WSN	■JGM6WSN	■JGM10WSN
中骨	—	411 x 4	411 x 6	411 x 10	461 x 4	461 x 6	461 x 10
中骨ブラケット	IB-1098	8	12	20	8	12	20

## ○ 側枠 (F型)

名 称	部 品 番 号	製 品 記 号		
		■JGFG3	■JGFG4	
側枠カバー	—	885 x 2	1190 x 2	
側枠 L	—	885 x 1	1190 x 1	
側枠 R	—	885 x 1	1190 x 1	
ヒット部品	—	SB-3526-01	SB-3526-02	
セ ト 部 品 内 容	防水ビスφ5X16	—	10	14
	防水ビスφ5X30	—	4	4
	トラスアップピン3種φ5X12	—	4	4

## ○ たる木 (F型)

名 称	部 品 番 号	製 品 記 号				
		■JGFT32S	■JGFT42S	■JGFT33S	■JGFT43S	
たる木	—	885 x 2	1190 x 2	885 x 3	1190 x 3	
たる木カバー	—	895 x 2	1200 x 2	895 x 3	1200 x 3	
ヒット部品	—	SB-3526-15	SB-3526-16	SB-3526-20	SB-3526-21	
セ ト 部 品 内 容	防水ビスφ5X16	—	10	14	15	21
	防水ビスφ5X30	—	4	4	6	6
	トラスアップピン3種φ5X12	—	8	8	12	12

## ○ 内嵌部材 (F型)

名 称	部 品 番 号	製 品 記 号 ( F 型 )		
		■JGFU3S	■JGFU4S	
側枠カバー	—	885 x 2	1190 x 2	
側枠 L	—	885 x 1	1190 x 1	
側枠 R	—	885 x 1	1190 x 1	
たる木カバー	—	895 x 1	1200 x 1	
たる木	—	885 x 1	1190 x 1	
ヒット部品	—	SB-3526-40	SB-3526-41	
	—	SG-1023-13	SG-1023-14	
セ ト 部 品 内 容	防水ビスφ5X16	—	15	21
	防水ビスφ5X30	—	6	6
	トラスアップピン3種φ5X12	—	8	8
	後付ビード	GB-1332	435.5x8	588x8

## 規格表

### ○ポリカーボネイト板 (F型・強風地対応タイプ)

名 称	サイズ W x L x T	製品記号			
		AJGF32●	AJGF42●	AJGF33●	AJGF43●
ポリカーボネイト板	W x 930 x 2	2		3	
ポリカーボネイト板	W x 1235 x 2		2		3

ポリカーボネイト板寸法	関東圏	関西圏
W	439	489

ポリカーボネイト板の ● 部には色記号・周別が入ります。

Z T : ライトブロンズ (関東圏)      Z T W : ライトブロンズ (関西圏)  
 P T : ブルースモーク (関東圏)      P T W : ブルースモーク (関西圏)  
 C T : トーメイ (関東圏)      C T W : トーメイ (関西圏)  
 Y T : 熱線遮断 ブルースモーク (関東圏)      Y T W : 熱線遮断 ブルースモーク (関西圏)

### ○移動桁用 積雪タイプ 部品箱 (F型)

名 称	部品番号	製品記号	
		■JGBS	■JGRBS
前枠ブACKET L	IB-1095-L	1	
前枠ブACKET R	IB-1095-R	1	
垂木掛ブACKET L	IB-1092-L	1	
垂木掛ブACKET R	IB-1092-R	1	
トラスアップ3種φ4x10	—	6	
移動桁ブACKET L	CB-1154-L	1	
移動桁ブACKET R	CB-1154-R	1	
風アップ2種ガイド付M4x60	—	2	
補強桁ブACKET L	CB-1155-L	1	
補強桁ブACKET R	CB-1155-R	1	
柱固定金具	AB-1042	2	
柱固定裏板	BP-1857	2	
柱固定金具 (連棟用)	AB-1043		1
柱固定裏板 (連棟用)	BP-1858		1
アンカー棒	AN-108	2	1
移動桁用前枠連結スリーブ	AB-1206		1
移動桁連結スリーブ	AB-1207		1
トラスアップ3種φ4x12	—		6
補強桁連結スリーブ	AB-1208		1
コーキング材	NBC-256	1	1
組立施工マニュアル	—	1	
六角ボルト M8x16	—	4	2
ワッシャー M8	—	4	2
スプリングワッシャー M8	—	4	2
トラスアップ3種φ5x12	—	12	12
補強桁連結カバー	CY-1885		1
前枠連結カバー (移動桁用)	CY-1882		1
垂木掛け連結カバー	CY-1883		1
セルフレリリングネジφ4x13	DDAP4X13S		3
セルフレリリングネジφ4x13	DDAF4X13S		2
積雪20cm用注意パネル	ML-1063	1	
積雪50cm用注意パネル	ML-1065	1	
積雪100cm用注意パネル	ML-1090	1	
セルフレリリングネジφ5x13	—	2	
雪除けカバー連結板	J-1083		1
孔アケツール	M-212	4	

### ○前枠ブACKET

名 称	部品番号	製品記号	
		■JGBB8	■JGBB9
垂木掛付ブACKET	AB-1203	2	3
トラスアップ3種φ5x12	—	8	12
セルフレリリングネジφ5x13	—	4	6

### ○躯体直付用テラス取付部品

名 称	部品番号	製品記号
		■JGBOX
柱固定ブACKET	UB-1067	2
六角ボルトM8x85	BH08X085S	2
ビスφ5X65ナベ	1PA5X65S	5
M8用ワッシャー	ZB08S	2
M8用スプリングワッシャー	ZF08S	2
M5用ワッシャー	ZB05S	4
M8用垫ナット	NFD08S	2
φ4X13セルフレリリングネジ	DDAP4X13W	2
柱キャップ	NC-451	1
組立施工マニュアル	ME-1580	1

### ○雨樋 (F型)

名 称	部品番号	製品記号			
		■JAABOX20	■JAAT27N	■JAABOX11N	■JAABOX12N
落し口	T-1001	1			
落し口ボックス	T-1002	1			
エルボ88°	ETC-2435	2		10	
たて樋ソケット	T-1005	1			3
固定バンドA	ETC-2436	4			10
固定バンドB	ETC-2437	4			10
接着剤	BC-2659	1			
トラスアップ3種4X12	3TB4X12S	2			
セルフレリリングネジ4X19	DDAP4X19W	4			10
ホビス4.1X45	WR41X45S	4			10
組立施工マニュアル	ME-1581	1			
ドレンエルボ	ETC-4077	1			
270度で巻	ETC-2438-04		1		

製品記号の ■ 部には色記号が入ります。

S : セビアブラック  
 H : ホワイト  
 F : ファイングレー  
 T : CBブラウン  
 8 : CBステン

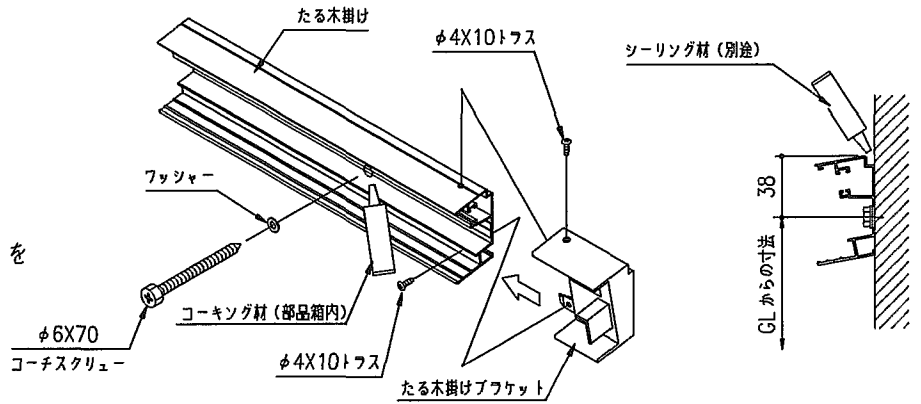
## 組立手順 (単体タイプ)

### ① たる木掛けの組立

- ◎ たる木掛けに、たる木掛けブラケットをφ4X10トラスで固定してください。
- ◎ たる木掛けの高さを決めてφ6X70コーチスクリューで固定してください。
- ◎ たる木掛けの上面に、シーリング材(別途)をしてください。

#### ⚠ 注意

- ◎ コーチスクリューの下孔はφ4.5 深さ 50 mm 以下にしてください。
- ◎ コーチスクリューの下孔にはコーキング材(部品箱内)を充てんしてください。

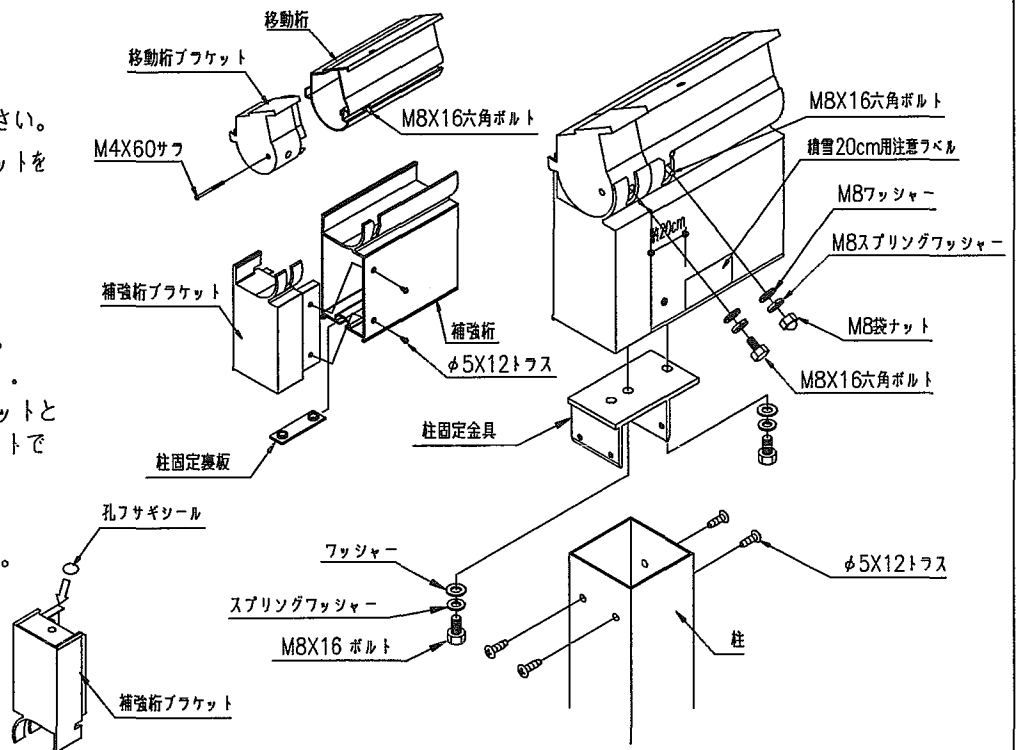


GLからの寸法

	3尺	4尺
移動なし	2889 以下	2942 以下
300mm移動	2836 以下	2889 以下

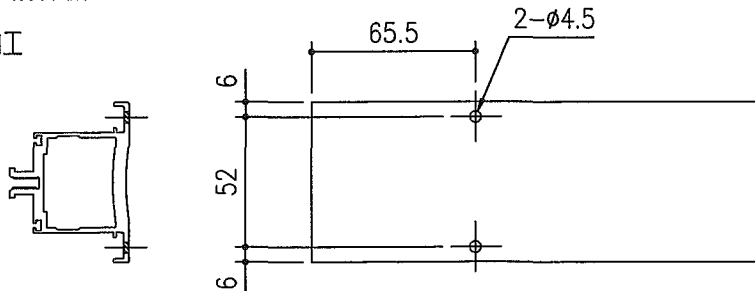
### ② 移動桁・補強桁と柱の組立

- ◎ 移動桁の溝にM8X16ボルトを入れ、移動桁ブラケットを差し込んで皿タッピンM4X60で固定してください。
- ◎ 柱固定裏板を補強桁に入れ、補強桁ブラケットをφ5X12トラスで固定してください。
- ◎ 柱固定金具を柱固定裏板にM8X16ボルトで固定してください。
- ◎ 柱に柱固定金具を差し込んでφ5X12トラスで固定してください。
- ◎ 移動桁と補強桁をM8X16六角ボルト・M8袋ナットで固定し、移動桁ブラケットと補強桁ブラケットをM8X16六角ボルトで固定してください。
- ◎ 積雪20cm用注意ラベルを補強桁の室内側に貼り付けてください。
- ◎ 柱を内側に移動した場合、孔フサギシールを貼り付けてください。



### ③ たる木 加工図 (前枠側)

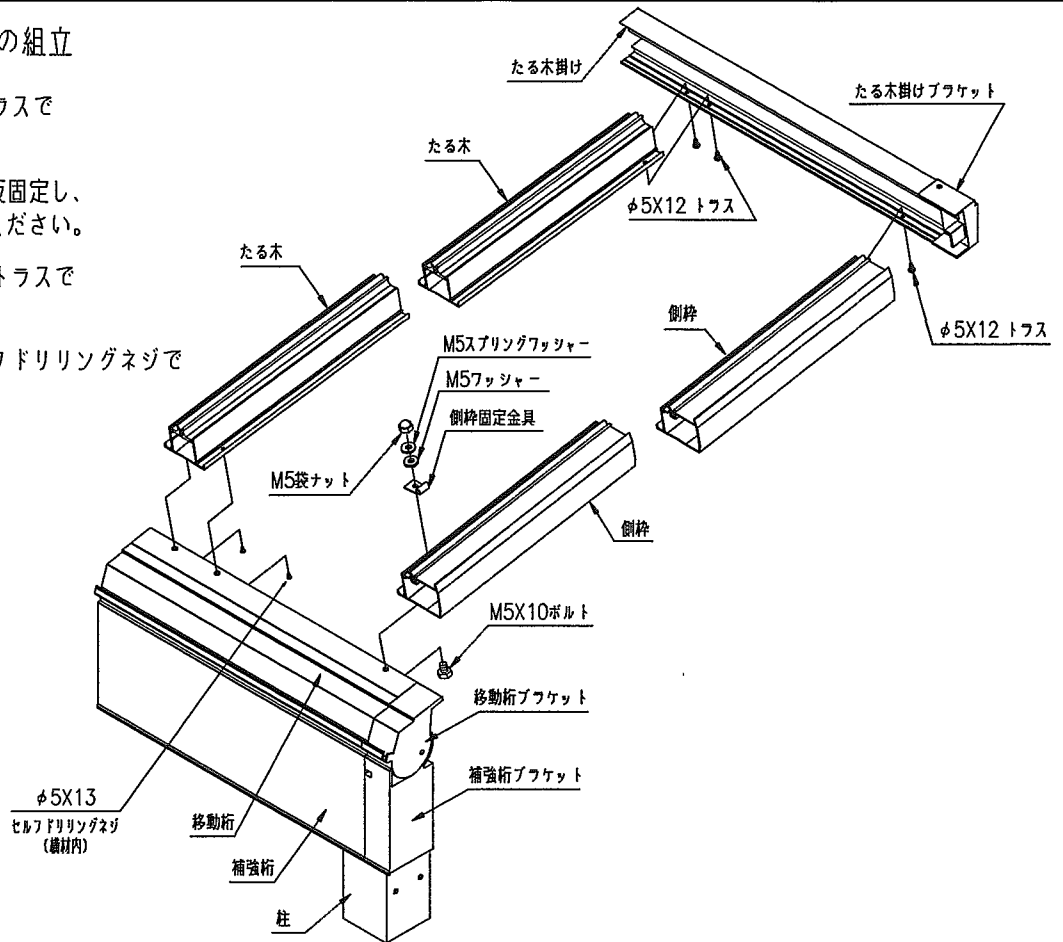
- ◎ 移動なしの場合の標準加工



## 組立手順 (単体タイプ)

### ④ 側枠・たる木と移動桁の組立

- ◎ 側枠・たる木掛けをφ5X12トラスで固定してください。
- ◎ 側枠固定金具で移動桁と側枠を仮固定し、柱の垂直を確認して本締めしてください。
- ◎ たる木・たる木掛けをφ5X12トラスで固定してください。
- ◎ たる木・移動桁をφ5X13セルフドリリングネジで固定してください。

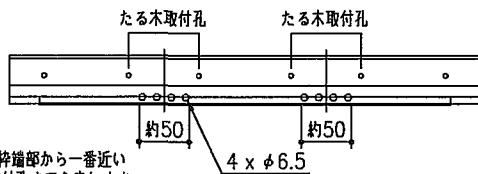


### ⑤ 前枠と側枠・たる木の組立

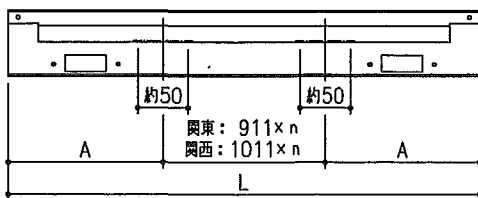
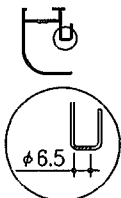
- ◎ 前枠と前枠ブラケットをφ4X10トラスで固定してください。
- ◎ 側枠と前枠を側枠取付ブラケットにて、M5X12トラスで固定してください。
- ◎ たる木と前枠をたる木取付ブラケットにて、M5X12トラスで固定してください。

#### お願い

前枠を組立てる前にφ6.5孔加工を追加して下さい。  
孔位置はたる木取付孔を目安にして下さい。

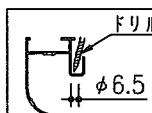


\*Aは、前枠端部から一番近いたる木取付孔までを表します。

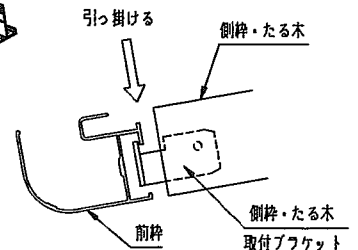


#### 注意

側枠取付ブラケット・たる木取付ブラケットは組立てる前に、側枠・たる木に取付けておいてください。



\*水抜けを良くするためドリルを斜めにして孔を明けて下さい。

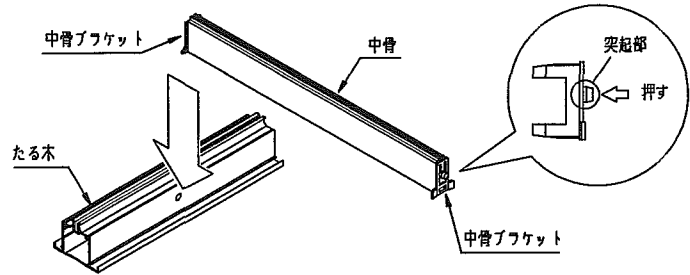


\*前枠を取付ブラケットに引っ掛けて保持して頂く作業がしやすくなります。

## 組立手順

### ⑥ 中骨の組立

- ◎ たる木・側枠の孔に合せ、中骨ブラケットの突起部を押しながら差込んでください。
- ※ 中骨に前後左右の向きはありません。

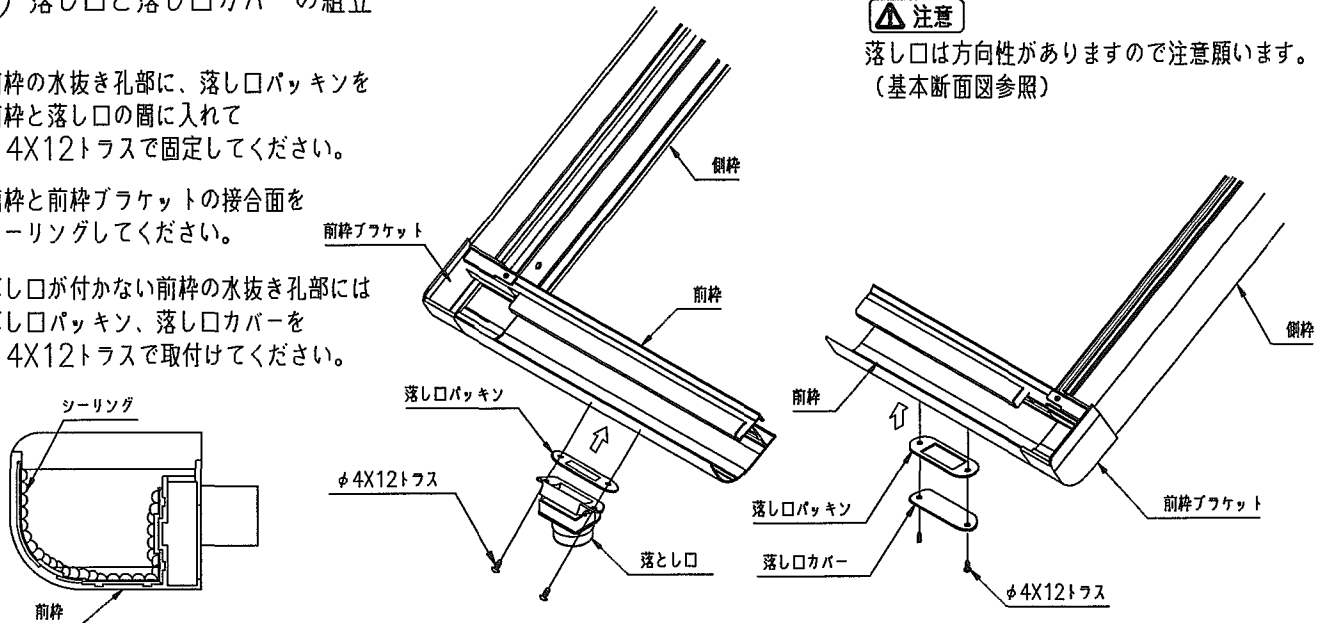


### ⑦ 落とし口と落とし口カバーの組立

- ◎ 前枠の水抜き孔部に、落とし口パッキンを前枠と落とし口の間にに入れてφ4X12トラスで固定してください。
- ◎ 前枠と前枠ブラケットの接合面をシーリングしてください。
- ◎ 落とし口が付かない前枠の水抜き孔部には落とし口パッキン、落とし口カバーをφ4X12トラスで取付けてください。

**注意**

落とし口は方向性がありますので注意願います。  
(基本断面図参照)

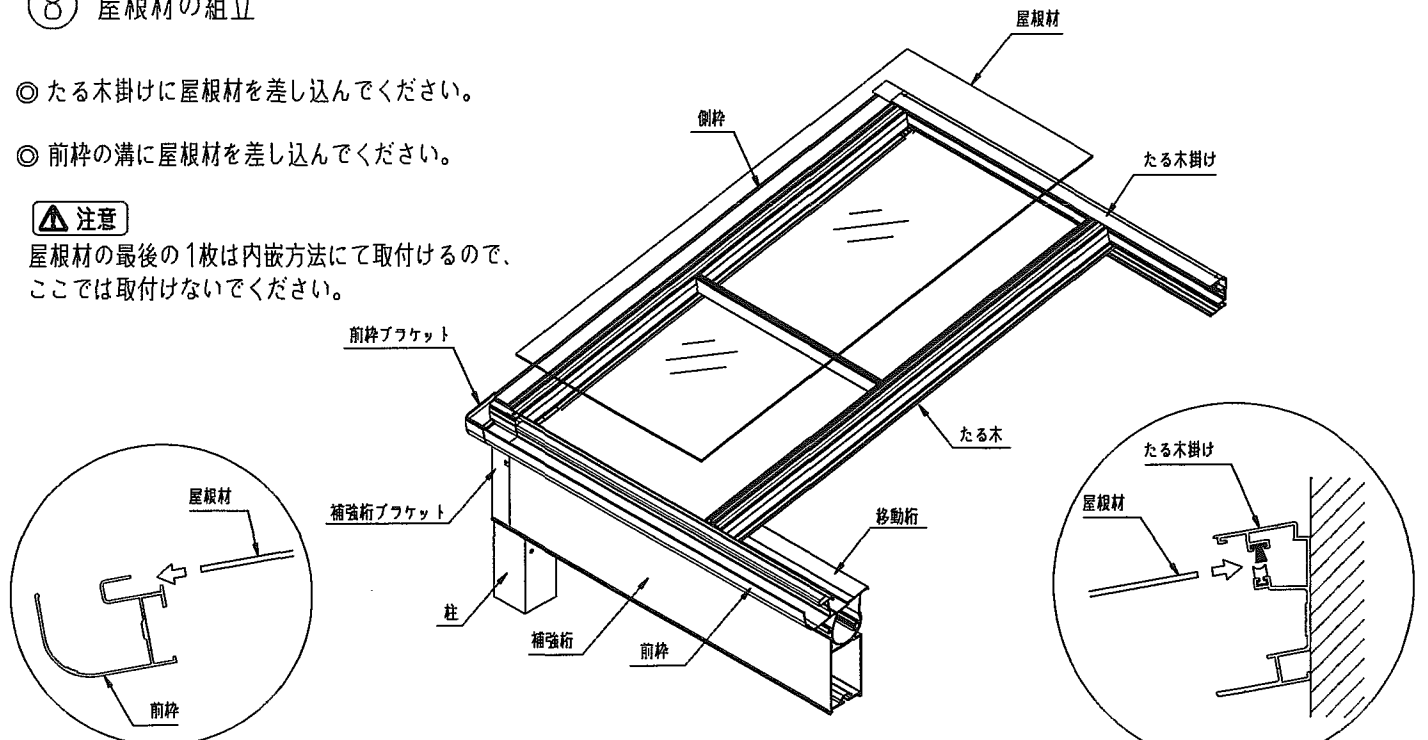


### ⑧ 屋根材の組立

- ◎ たる木掛けに屋根材を差し込んでください。
- ◎ 前枠の溝に屋根材を差し込んでください。

**注意**

屋根材の最後の1枚は内嵌方法にて取付けるので、ここでは取付けないでください。





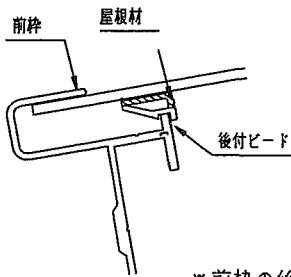
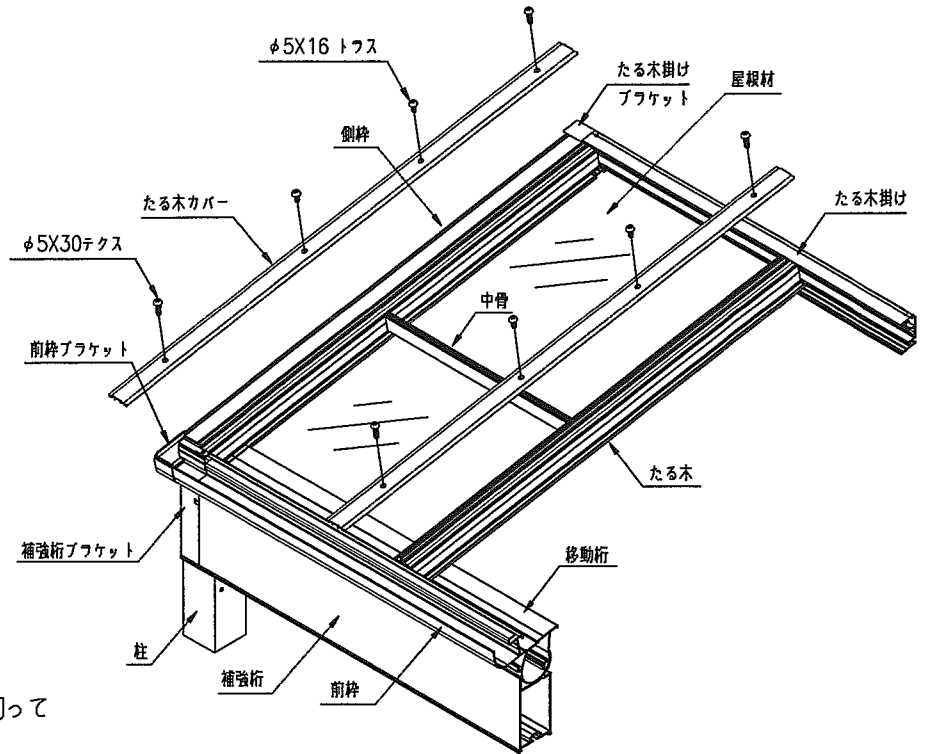
# 組立手順

## ⑨ たる木カバーの組立-1

◎ たる木カバーで屋根材を固定してください。(φ5X16トラス)

※ たる木カバー両端固定ビスは  
抜け防止のため、φ5X30テクスビスで  
取付けてください。

◎ 前枠に後付ビードを嵌め込んでください。



※ 前枠の後付ビードを切って  
使用してください。

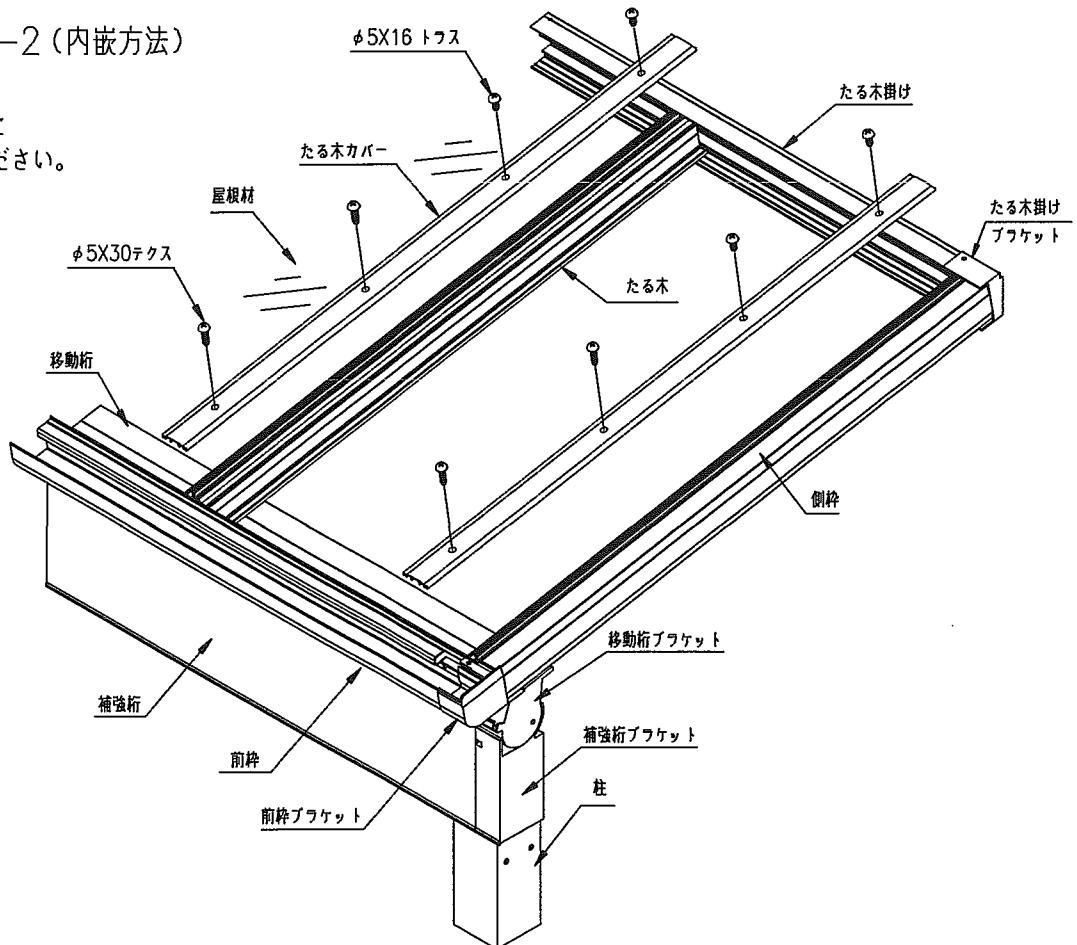
		関東周	関西周
LS	LS	L 870	L 970
L		LS 414.5	LS 464.5

※ 2本取り

## ⑩ たる木カバーの組立-2 (内嵌方法)

◎ たる木カバーをたる木・側枠に  
φ5X16トラスで固定してください。

※ たる木カバー前枠側固定ビス  
と次のビスは抜け防止のため、  
φ5X30テクスビスで取  
付けてください。

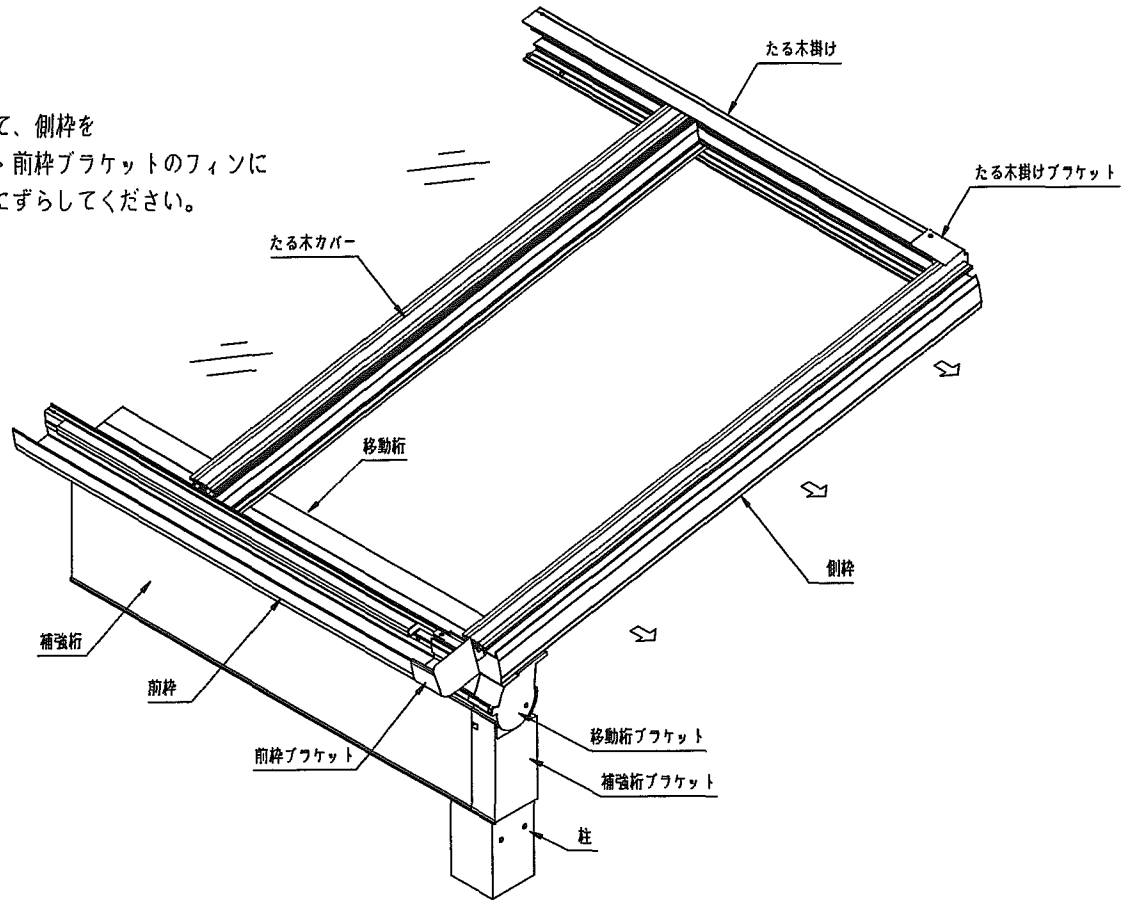




## 組立手順 (内嵌方法)

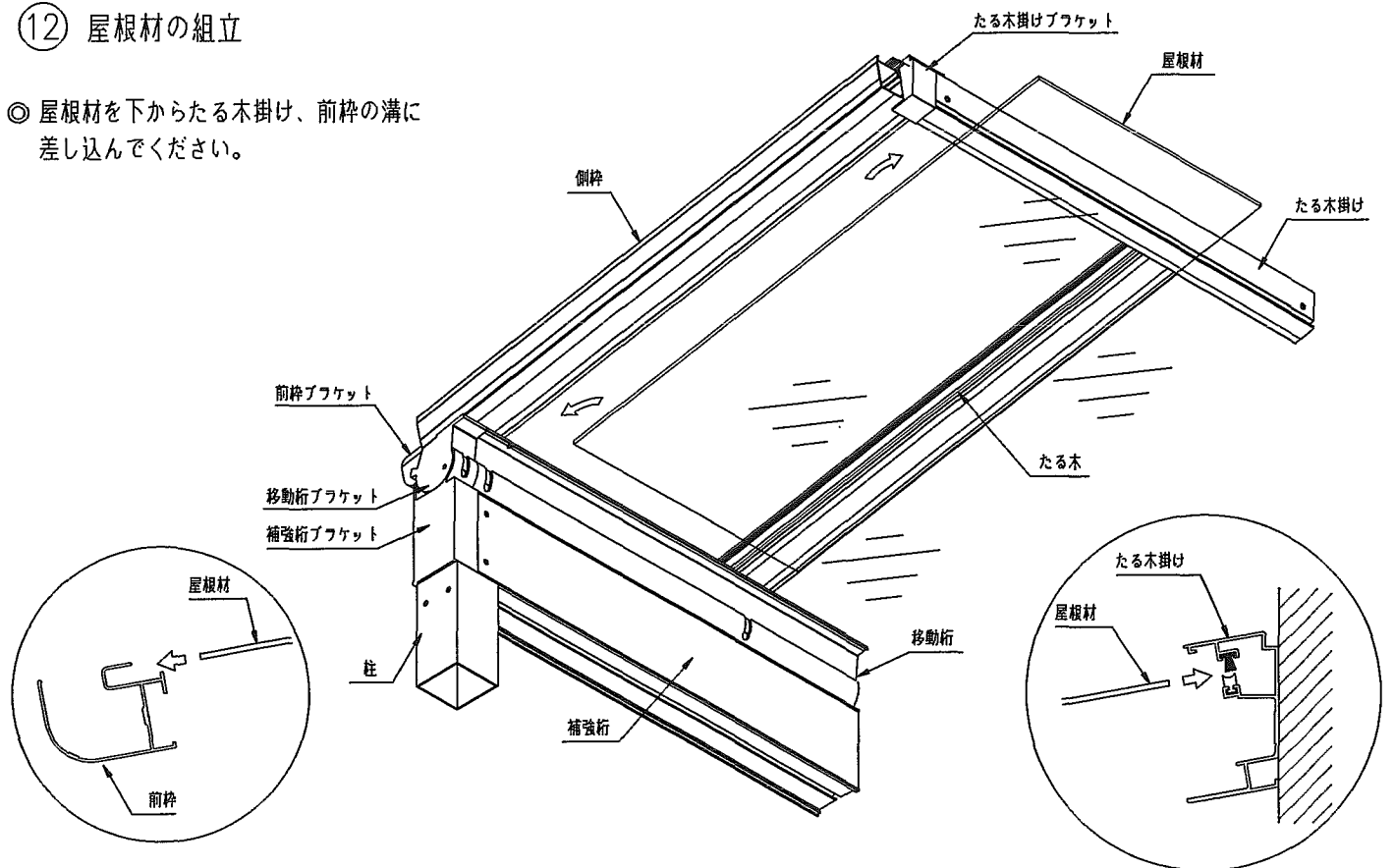
### ⑪ 側枠をずらす

- ◎ 側枠取付金具をゆるめて、側枠をたる木掛け Bracket・前枠 Bracket のフィンに当たるまで、矢印方向にずらしてください。



### ⑫ 屋根材の組立

- ◎ 屋根材を下からたる木掛け、前枠の溝に差し込んでください。

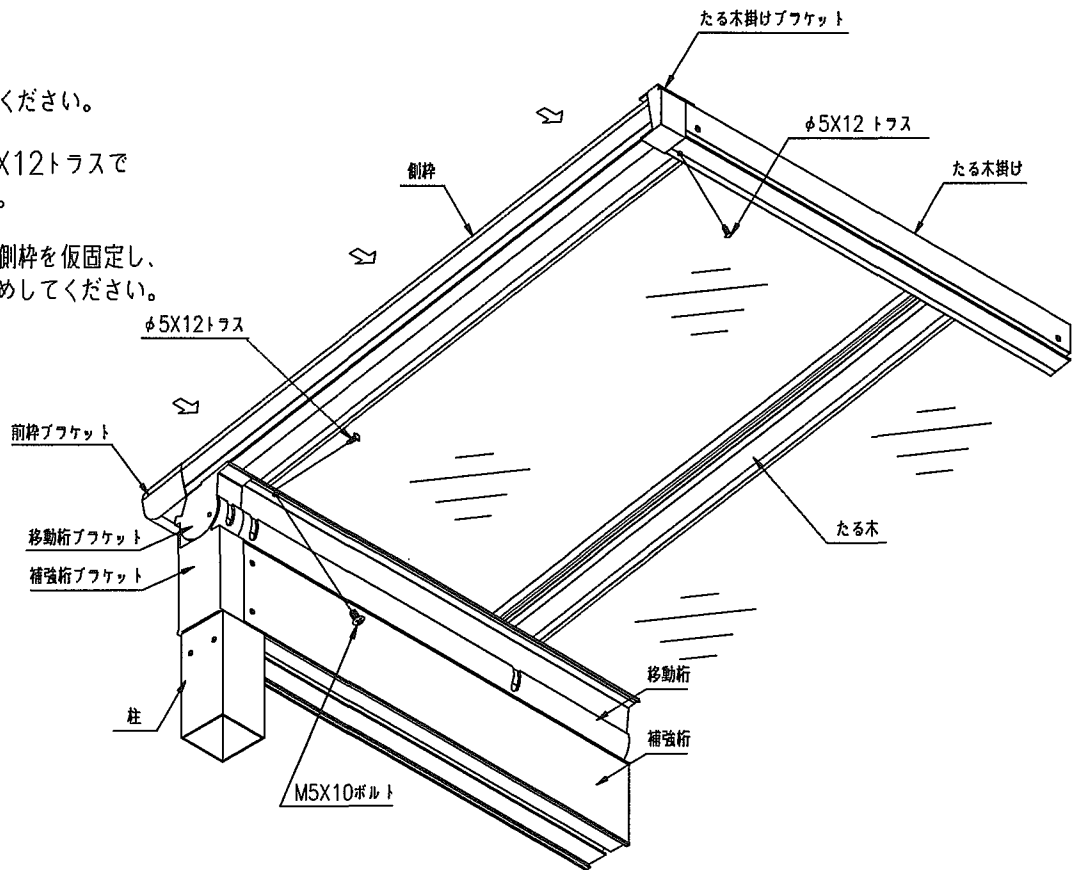




## 組立手順（内嵌方法）

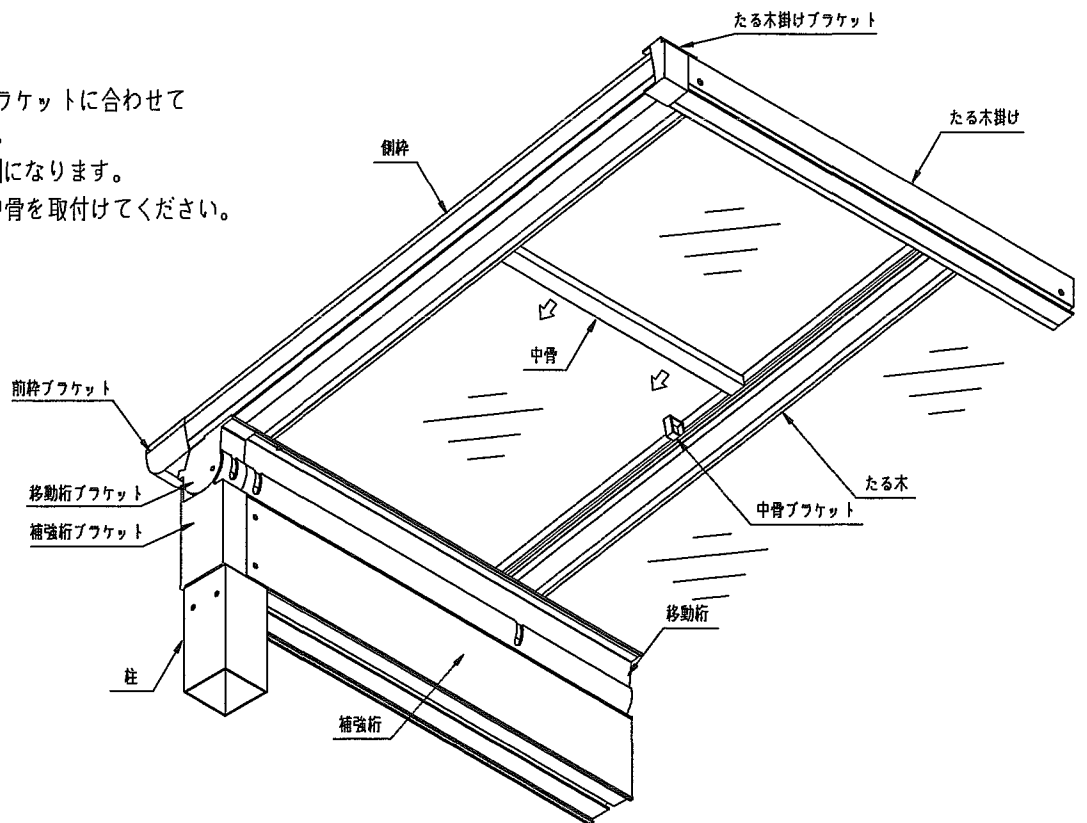
### ⑬ 側枠を戻す

- ◎ 側枠を矢印方向に戻してください。
- ◎ 前枠・たる木掛けにφ5X12トラスで側枠を固定してください。
- ◎ 側枠固定金具で移動桁と側枠を仮固定し、柱の垂直を確認して本締めしてください。



### ⑭ 中骨の組立

- ◎ 中骨の切り欠き部を、中骨ブラケットに合わせて差し込んで固定してください。
- ※ 中骨の切り欠き面は前枠側になります。
- ※ 屋根材を少し持ち上げて中骨を取付けてください。



## 組立手順 (内嵌方法)

### ⑮ 後付けビードの取付け

◎ 後付けビードを嵌め込みます。

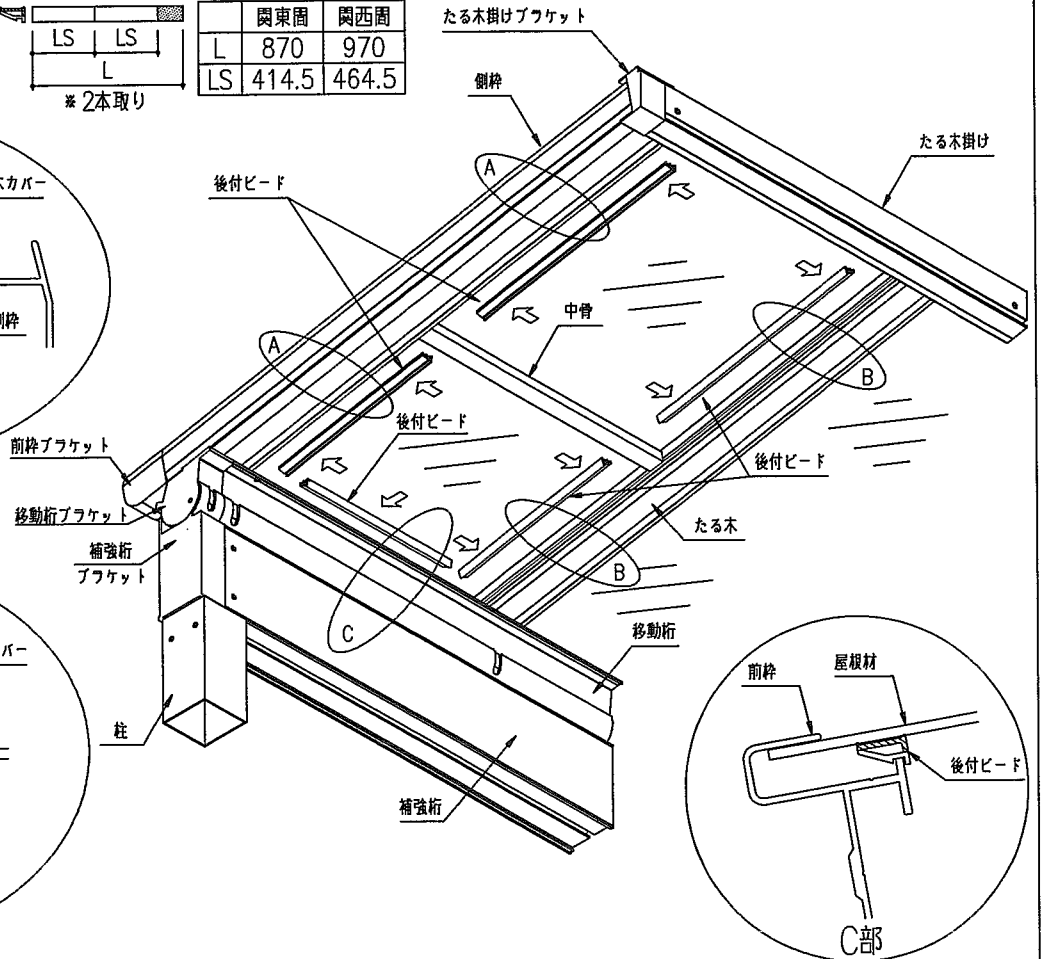
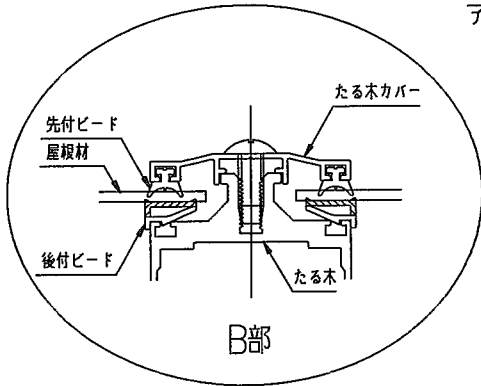
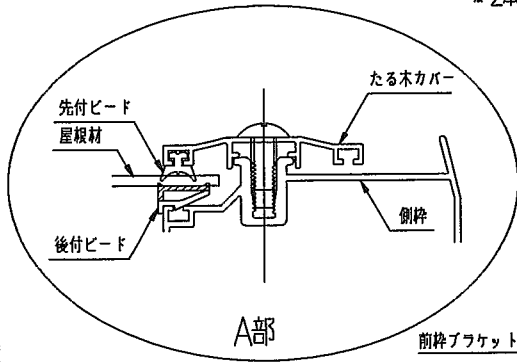
※ 前枠の後付けビードを切って  
使用してください。

LS	LS		関東圏	関西圏
L		L	870	970
		LS	414.5	464.5

※ 2本取り

**注意**

◎ 後付けビード(硬質)を木ハンマー等でたたき込んでください。

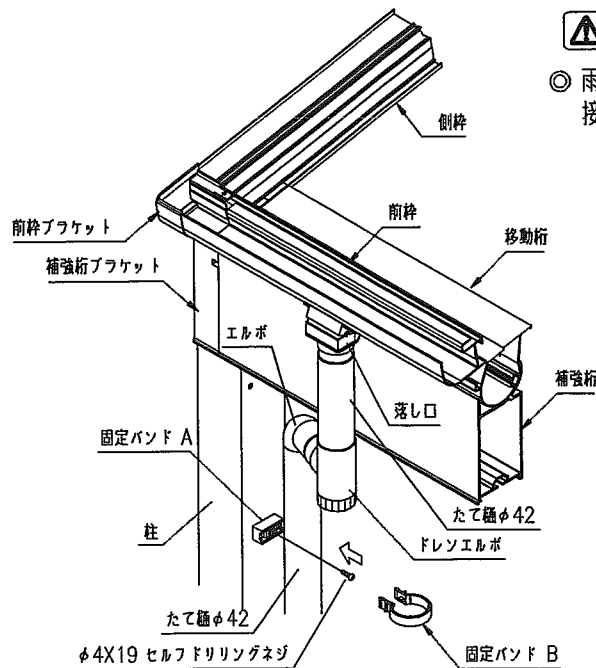


### ⑯ 雨樋の組立

- ◎ 落とし口に、たて樋とドレンエルボを接着材を塗布して固定してください。
- ◎ 柱に、固定バンド A をセルフドリリングネジ  $\phi 4 \times 19$  で、固定してください。
- ◎ ドレンエルボに、たて樋を接着材を塗布して固定してください。
- ◎ たて樋を、固定バンド A、B で柱にして固定してください。

**注意**

◎ 雨樋の接合面には、必ず付属の接着材を塗布してください。



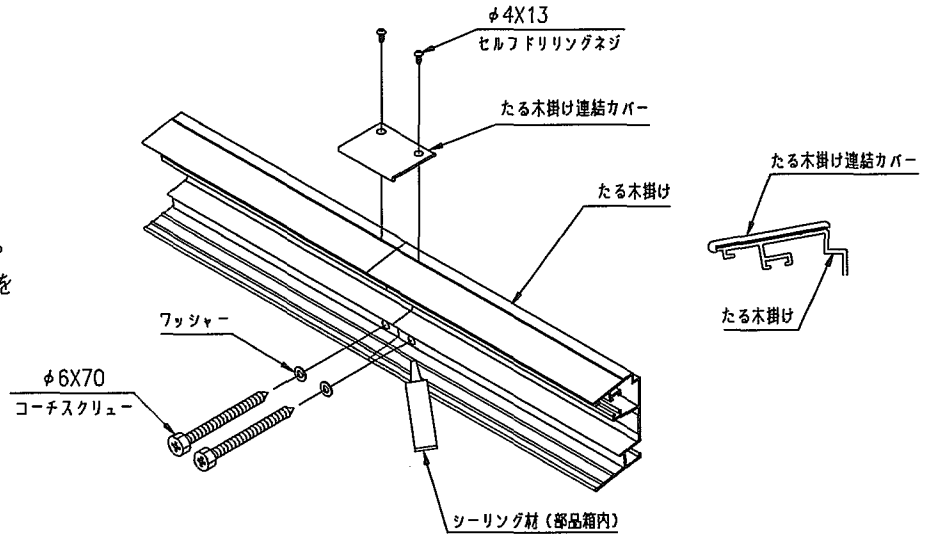
## 組立手順 (連棟タイプ)

### ① たる木掛けの組立

- ◎ たる木掛けを合わせてφ6X70コーチスクリューで固定してください。
- ◎ たる木掛け連結カバーの離型紙をはがし、たる木掛けの連結部に貼り付け、φ4X13セルフドリリングネジで固定してください。
- ◎ たる木掛けの上面に、シーリング材(別途)をしてください。

#### ⚠ 注意

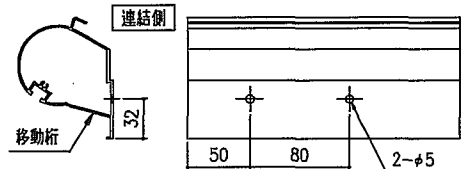
- ◎ コーチスクリューの下孔はφ4.5 深さ 50 mm 以下にしてください。
- ◎ コーチスクリューの下孔にはシーリング材(部品箱内)を充てんしてください。



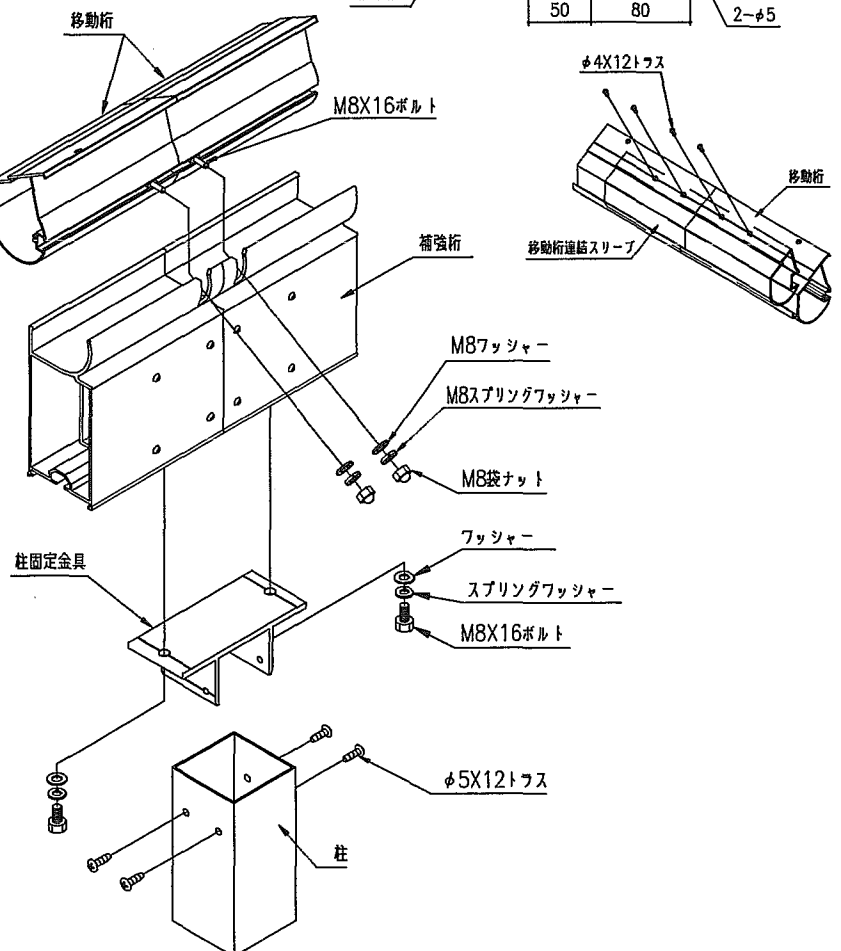
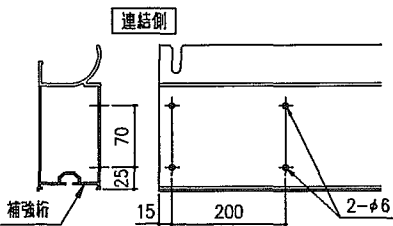
### ② 移動桁・補強桁の連結と柱の組立

- ◎ M8X16ボルトと移動桁連結スリーブを移動桁の中に差し込んでφ4X12トラスで固定してください。
- ◎ 柱固定裏板と補強桁連結スリーブを補強桁の中に差し込んでφ5X12トラスで固定してください。
- ◎ 柱固定金具を柱固定裏板にM8X16ボルトで固定してください。
- ◎ 柱に柱固定金具を差し込んで、φ5X12トラスで固定してください。
- ◎ 移動桁と補強桁を、M8X16ボルト・袋ナットで固定してください。

#### ※ 移動桁連結スリーブ取付け用加工位置



#### ※ 補強桁連結スリーブ取付け用加工位置

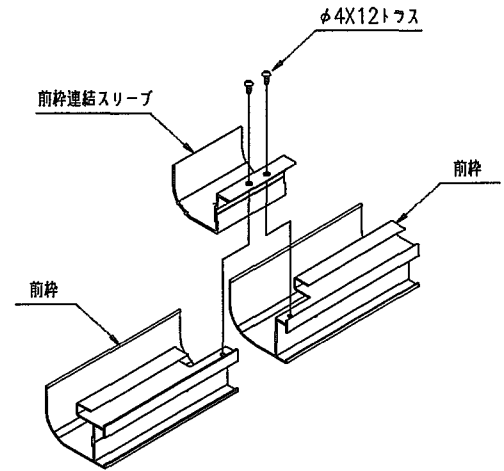
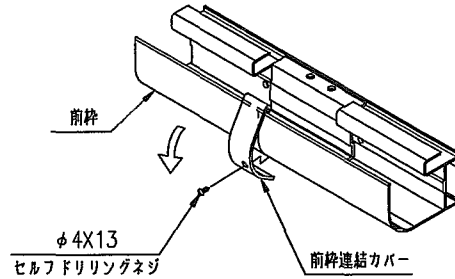
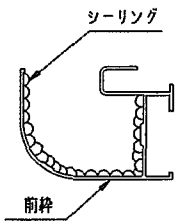




## 組立手順 (連棟タイプ)

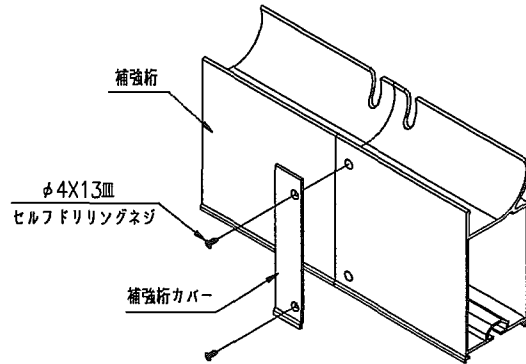
### ③ 前枠の組立

- ◎ 前枠の連結部をシーリングしてください。
- ◎ 前枠と前枠連結スリーブをφ4X12トラスで固定してください。
- ◎ 前枠連棟カバーをφ4X13セルフドリリングネジで固定してください。



### ④ 補強桁の組立

- ◎ φ4X13皿セルフドリリングネジで固定してください。



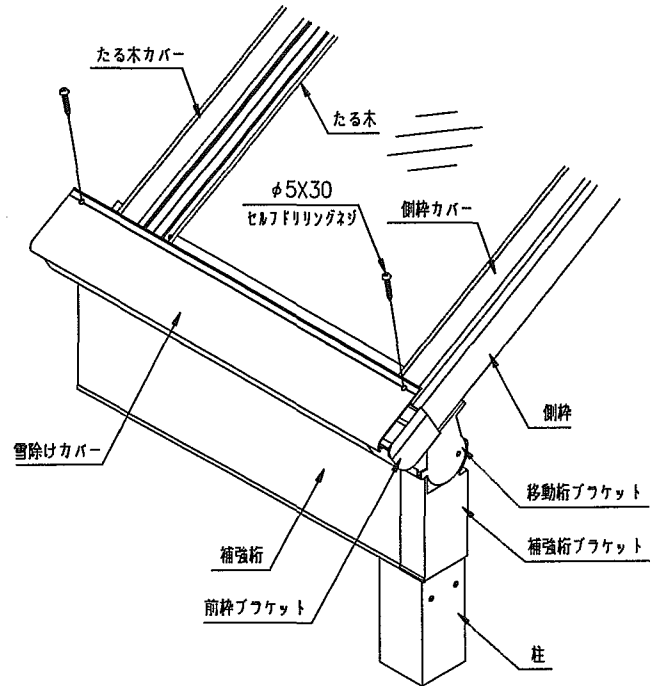
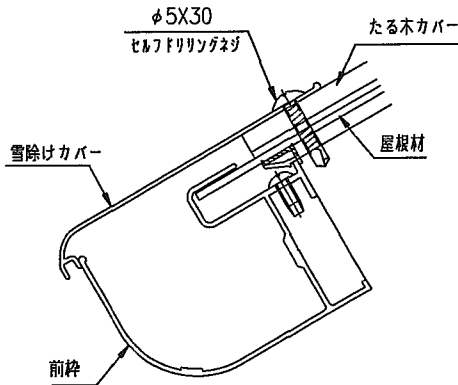


## 組立手順 雪除けカバー<積雪タイプ用部材>

※前枠に雪が溜まるのを防ぐ部材です。  
必要に応じ取付けて下さい。

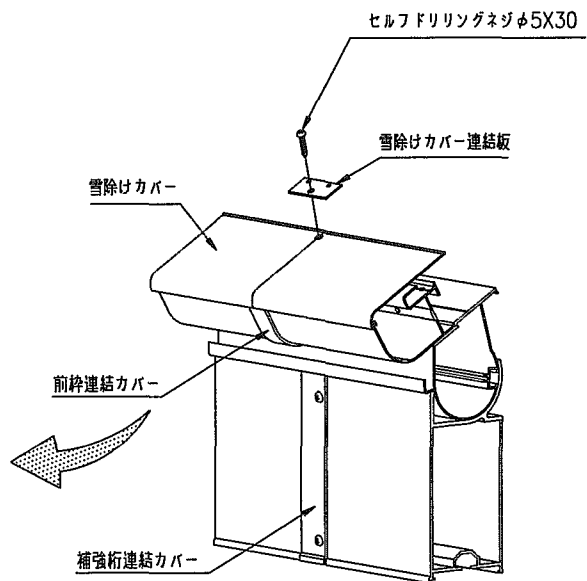
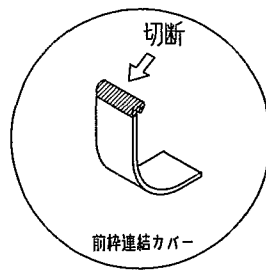
### ① 雪除けカバーの組立

- ◎ 雪除けカバーをセルフドリリングネジφ5X30で固定してください。

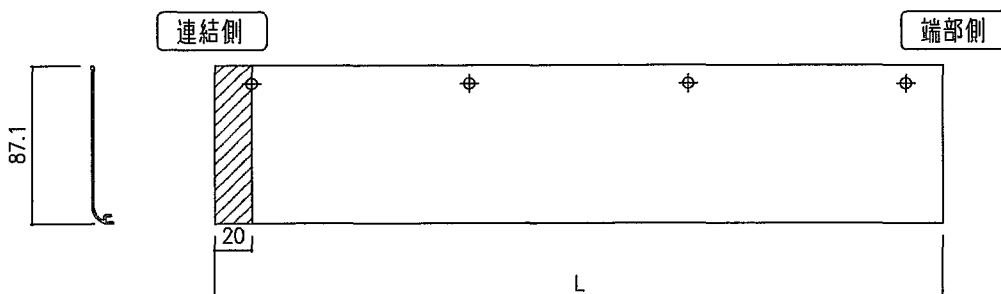


### ② 雪除けカバーの組立 (連棟タイプ)

- ◎ 下記の加工図を参考に、それぞれの連結側のみ切断してください。
- ◎ 前枠連結カバー下図のように上部のかかり部分のみ切断して、取付けてください。
- ◎ 雪除けカバーの連結部は、雪除けカバー連結板をあてセルフドリリングネジφ5X30で固定してください。

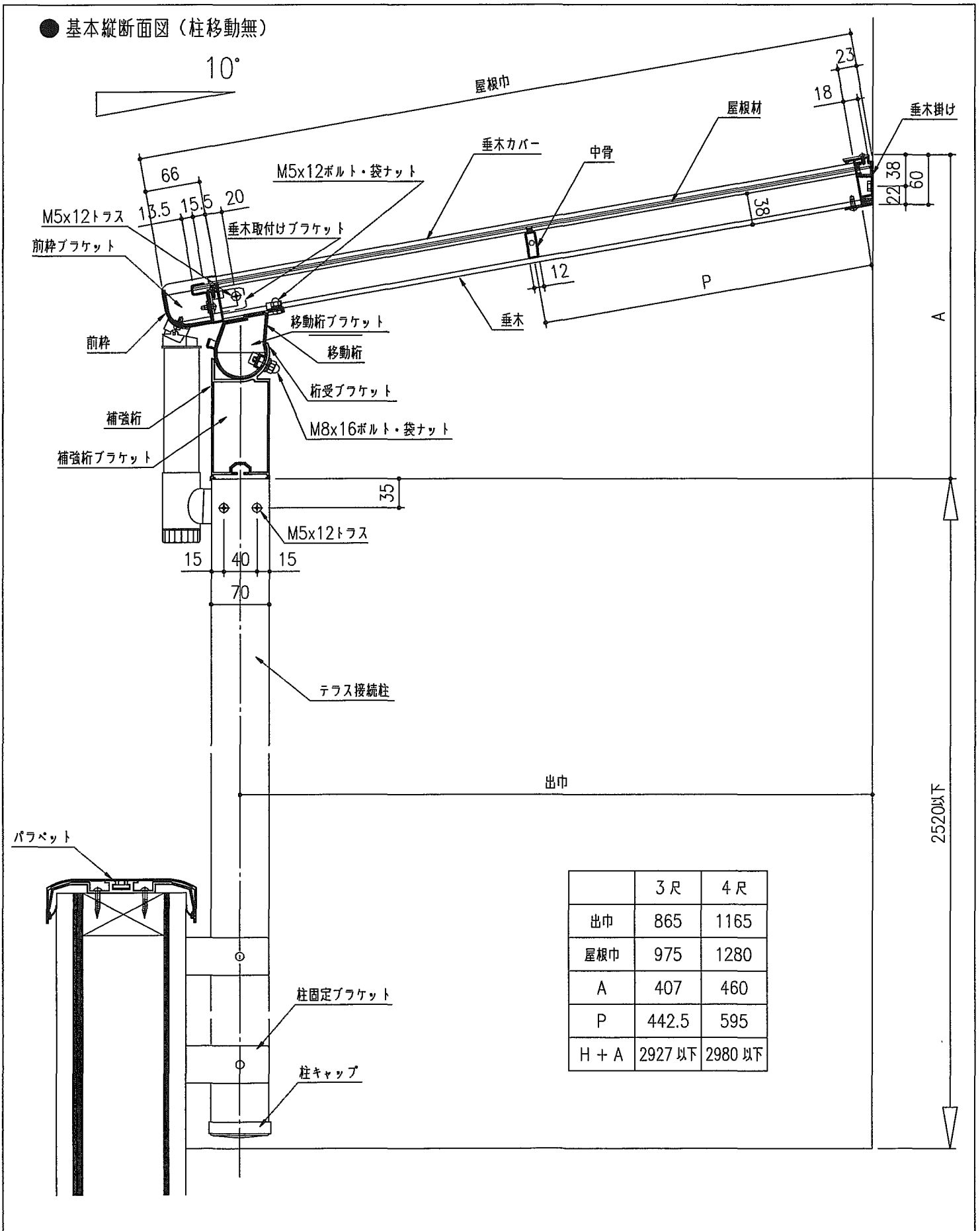


### <雪除けカバー切断加工図>



基本納まり図

● 基本縦断面図（柱移動無）





基本納まり図

● 基本縦断面図 (柱300移動)

